

優良事業12件を選定

全住協

全国住宅産業協会はこのほど、会員を対象とした「第8回優良事業表彰」の選考結果を発表した。応募総数18社・20件の中から12件が選ばれた。同協会では毎年、会員が企画・開発したプロジェクトの中から特に優秀だったものを表彰している。

事業表彰審査会座長の幸寿シーズクリエイト会長は、「①事業コンセプトの明確性、②デザイン性、③先進性・安全性、④事業性」の4つの観点で選考した。不動産業界は今、大手の寡占化が進んでいるが、この表彰事業を通して、中小でも創意工夫のある商品を手掛けていることを知ってもらい、会員企業の励みになればと思っている」と話した。

選定されたプロジェクトと社名は次の通り。

【戸建て分譲住宅部門】
「ジョイナス新宮和（なごみ）」九州八重洲

【中高層分譲住宅部門】

「アジュールコフレ中野坂上」
アーバネットコーポレーション
▽「ヴェレナシティパレ・ド・シエル」大和地所レジデンス
▽「ベアーズコートライカム」住太郎ホーム
▽「Fステージ小緑宮城参番館」富士開発
▽「アスコットパーク森下」アスコット
▽「ミオカステアロニ子多摩川」山田建設
▽「ヴァースクレイシア銀座東」プロパティエージェン

【不動産関連事業部門】

「西台トーセイビル」トーセイ

【企画・開発部門】

「キラリス函館（函館MARKS THE TOWER）」フージャースコーポレーション
▽「ミハス中野」明豊エンタープライズ

【リノベーション部門】

「GOZAN」グローバル・エルシード

なお、戸建て注文住宅部門と宅地開発部門には応募がなかった。